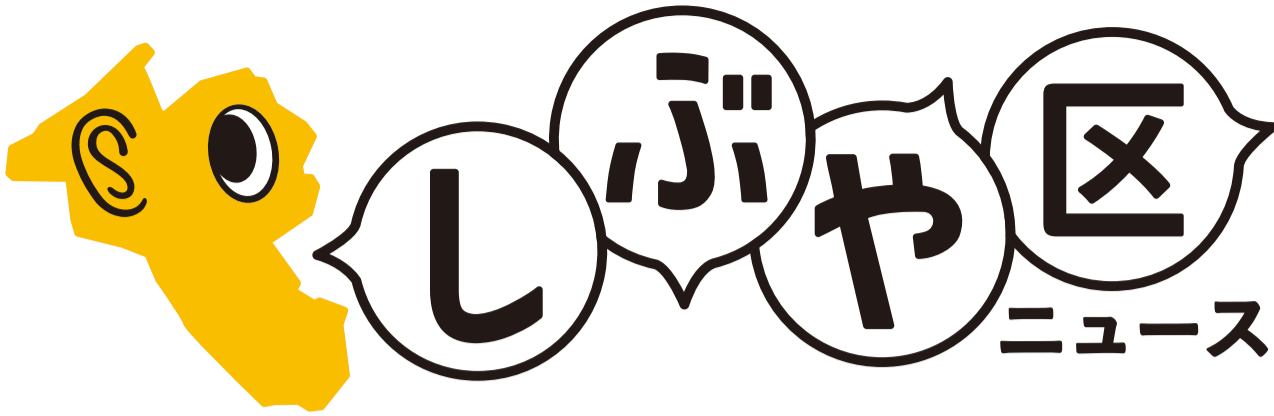


顔が見える。声が聞こえる。人をつなぐ。渋谷区からのお便りです。

令和3年
(2021年) 3月15日

No.1457



発行 | 渋谷区
編集 | 広報コミュニケーション課
所在地 | 〒150-8010 宇田川町1-1
電話 | 03-3463-1211 (代表)
HP | www.city.shibuya.tokyo.jp/
Twitter | @city_shibuya
Facebook | @shibuya.city
Instagram | @city_shibuya_official
LINE | @shibuyacity



「シブヤ経済新聞」編集部の方々

広域渋谷圏のビジネス&カルチャーニュースを届ける。
シブヤの「いま」を記録するシブヤ経済新聞。

2	シブヤのニュースを届けたい。	4	令和3年第1回	6	春季区民体育大会 ほか	8	くらしの情報
3	ローカルメディアだからこそできること。	5	区議会定例会区長発言(抄) ほか	7		11	

渋谷区基本構想が掲げる渋谷区の未来像「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」

シブヤのニュースを届けたい。ローカルメディアだからこそできること。

渋谷のラジオで出張インタビュー

渋谷駅から1駅圏の「広域渋谷圏」で、ビジネスやカルチャーをはじめ、お店やイベントの情報まで幅広く発信するシブヤ経済新聞。創刊の経緯や渋谷への思いを、編集部の皆さんに伺いました。



にしきたき 編集長 西 樹さん

シブヤの街の変化を書き留めていくメディアにしたかったんです。



かめおかすみこ 亀岡澄子さん

人を魅了する華やかさが、渋谷の街にはありますね。



うえのやすは 上野康葉さん

渋谷のありとあらゆることを受け入れてくれるところが、私は好きです。



ふじい たかし 藤井 貴さん

シブヤ経済新聞の編集者は、街と共に生きているんです。

自分が欲しいメディアを創刊

——まず、シブヤ経済新聞を創刊した経緯を教えてください。

西：私は兵庫県尼崎市出身ですが、上京して青山学院大学に進学し、渋谷駅から歩いて通学していました。日々変化していく渋谷の街が本当に面白くて飽きなかったですね。卒業後は外苑前の会社に就職し、その後、独立しましたが、ずっと渋谷の動きが気になっていました。しかし、自分が知りたいと思う渋谷に関する情報が手に入るメディアが世の中にはない。それなら自分でつくろうと、平成12年に創刊に踏み切りました。「シブヤ」とカタカナ表記にしたのは、渋谷駅から1駅圏の広域渋谷圏を対象としているから。事件や事故ではなく、お店や人やイベントなどシブヤの街の変化を書き留めていくニュースメディアにしたかったんです。

——そこから徐々にメンバーが増えていったのですか。

亀岡：私は、シブヤ経済新聞に掲載されていた「ティーンズラボ」という特集記事がきっかけで入社しました。同世代の子が読む記事ではなく、大人が読んで分かりやすいギャルについての考察記事が面白かったんです。入社して、私もティーンの女の子を取材するようになりました。当時私は20代半ばでしたが、目黒出身で遊びに行く街と言えば渋谷。好奇心の赴くままに、中高生に好きなモノや流行語などを取材するのは楽しかったですね。

上野：私は大学生の頃からシブヤ経済新聞に携わっていますが、最初は取材時に質問もなかなかできなくて大変でした。ただ、記事として配信する以上、読者に理解してもらい、面白いと思ってもらえる記事にしなければならぬ。だったら自分が気になったことをどんどん質問するしかない、多少恥をかいてもいいと開き直ってからは、質問できるようになりました。

藤井：編集者が街と共に生きている。一般の新聞とは違って、対象を広域渋谷圏に限定しているから、街のキーマンとも出会える。そして長く付き合える。これもシブヤ経済新聞の魅力でしょう。

西：大手メディアに二次利用される記事もありますね。ローカルの小ざ

な情報でも、全国に通用するアイデアやネタはある。そこに、現場で直接取材して得た一次情報を扱う我々の意義があるのだと思います。

記憶に残るハードな取材

——これまで手掛けてきた記事の中で、特に思い出深いものを教えてください。

藤井：忘れもしません。平成25年3月15日に書いた東急東横線と東京メトロ副都心線の相互直通運転が始まるのを前に、東急・渋谷駅の地上ホームが廃止になった記事です。地上駅が地下にジャックで下げられる大工事をカメラに収めるため、私は一晩中、代官山に張り付いていました。住宅街に巨大なクレーンが登場してどんどん工事が進んでいく。ダイナミックな光景でしたよ。電車を止めず、終電から始発までの数時間で工事を一気に完了させることができるのは日本ぐらいじゃないかな。記事を上げたら、翌朝には相互直通運転の取材に行きました。ハードな1日でしたね。

西：鉄道ファンではないけれど、鉄道関連のハードな取材はけっこう多いです。僕が忘れられないのは、平成30年10月に明治通りと青山通りに架かる歩道橋が架け替わったときの取材かな。深夜に、重機での架け替え作業を撮影しに行きました。他には、ほっこりする記事でも記憶に残るものはありますよ。平成24年2月の記録的な大雪の日に、ハチ公像の隣に突如、雪で作られたハチ公が現れたんです。誰が作ったかは分からないけれど、急がないと解けてしまうからと、慌てて写真を撮りに行ったことをよく覚えています。この記事はその年、一番読まれた記事になりました。

上野：私も記憶に残る記事はたくさんあります。挙げるなら、プロバスケットボールチームの取材記事でしょうか。渋谷はスポーツの印象があまりない街だと思いますが、プロバスケットボールリーグのBリーグには「アルバルク東京」と「サンロッカーズ渋谷」という渋谷を拠点とするチームが2つもあるんですよ。ライブ感がある記事なので、とても思い出がありますね。

亀岡：私は桜丘町の再開発を機に閉店することになった老舗立ち飲み

居酒屋、富士屋本店を取り上げた記事が印象に残っています。この記事には「いいね」の評価を1万2,000以上もらいましたが、最初はお店に取材を受けてもらえなかったんです。でも、二代目の経営者が別のお店を運営していると聞きつけ、直接その店に行ってみるとスタッフの方が「オーナーは後で来ます」と教えてくれました。その時間に電話をかけ、丁寧に取材の依頼をしたらOKの返事をいただけました。閉店情報はセンシティブな内容なので取材を断られることが珍しくありませんが、私たちは決してネガティブな内容にはしたくない。渋谷にこういうお店があったという事実を記録として残したい。そう伝えると、取材を受けてもらえることも多いんです。

寛容で許容度の高い街

——いまヨコハマ経済新聞をはじめ、国内外に多くの「〇〇経済新聞」があります。この「みんなの経済新聞ネットワーク」はどのようにして広がったのでしょうか？

西：平成16年にヨコハマ経済新聞が誕生して、現在は海外も含めて125媒体あります。こちらから積極的に働き掛けて拡大したわけではなく、「地元の情報を発信したい」と手を挙げてくれた各地のパートナーが運営しています。おおよそのルールは決まっていますが、基本は各媒体に任せています。

——みんなの経済新聞ネットワークに共通するのは、自分の街が大好きだということですね。皆さんは、渋谷の街のどこに惹かれていらっしゃるのでしょうか？

亀岡：華があるところです。渋谷は別格だと思います。ここに来れば何かがある。いつもそう期待させてくれます。たとえば、スクランブル交差点。観光スポットにもなっていますが、ウキウキ、ワクワクする場所だと思うんですよ。国際的にも格好良い場所とされていますし、人を魅了する華やかさが渋谷の街にはありますね。

上野：私が好きなのは、ありとあらゆることを受け入れてくれるところ。

中学時代から渋谷に通っていますが、そのころから自由で懐が深い街だと感じていました。

西：私も渋谷は寛容性の高い街だと思います。いつでもウェルカムというのかな。コミュニティはたくさんあるし、どこもオープンマインド。だから、そこからミックスカルチャーが生まれ、新しい価値が創出される。知らないものや興味の外にあるようなものとふと出合える、いわゆるセレンディビティの魅力もありますね。年を取ると自分の趣味趣向に偏って、視野が狭くなりがちですが、渋谷なら新たな刺激をもらえるはずですよ。

藤井：同感です。街が寛容というのか、許容度が非常に高い。また、ハロウィーンにしてもワールドカップにしても、何の告知もせずにあだけの人が集まる街は他にないでしょう。もちろんごみ問題などは浮上していますが、人を引き付ける要素をいい意味でイベントなどに活用していきたいですよ。

——最後に区民の皆さんへメッセージをお願いします。

西：20年間、渋谷の街の変化をずっとお届けしてきましたが、このコロナ禍で苦しむ個人経営店も増えています。そうしたお店の支援につながるような情報も強化していきたいと思っています。全てを掲載することはできませんが、街のちょっとした変化や面白い情報があればシブヤ経済新聞HPで受け付けているので、ぜひお知らせください。私たちにとって情報は命。区民の皆さんのプラスになる情報をこれからも発信していきます。

シブヤ経済新聞とは？

「広域渋谷圏」における、ビジネス&カルチャーニュースから店舗やイベントの情報まで幅広く発信する。シブヤ経済新聞を起源とする、各地域のニュースサイトがまとまって「みんなの経済新聞ネットワーク」を形成している。記事はYahoo! ニュースやスマートニュースなどにも配信されている。

▲シブヤ経済新聞HP

シブヤ経済新聞さんへのインタビューは3月16・23・30日に「渋谷の星」で放送します。

問 広報コミュニケーション課広報係 ☎3463-1287 📠5458-4920

渋谷区の番組を放送中です

ラジオ しづや区ニュース (10分間) 月~木 11:00/16:00/21:50 「しづや区ニュース」の情報を発信します。	渋谷の星 (45分間) 火 11:15 渋谷区で活躍する人たちが登場します。	渋谷のくらし (30分間) 火 16:20 地域の催しなどの様子を伝えます。	ラジオ しづや区ニュース (区長の部屋ほか) (10分間) 金 11:00/17:00/19:50 長谷部区長が出演します(ラジオしづや区ニュースの内容になる場合あり)。
--	--	--	---

しづや区 ニュース × 渋谷 とは？

「しづや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しづや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面を届けています。

周波数：
渋谷 87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能

所在地 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876
FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | shiburadi.com/